

Measuring Impact

責任ある投資家として

Measuring Impact

<導入編>

2023年9月

序文

「女性への投資は、正しいだけでなく、賢いことでもある」

“Investing in women is not just a right thing to do, but it is a smart thing to do.”

私たちがこの言葉をよく使うのは、これを実証するデータ、文献、学術研究を多く見てきて実感しているからです。少なくとも、ジェンダー投資を積極的に推進する人々にとって、よく耳にする表現です。女性に投資することで、その女性自身に生まれるポジティブな効果に加えて、その家族、そしてコミュニティにもたらず波及効果も十分納得しているため、効果の高い投資と考えています。しかし、この言葉は他の多くの投資家に本当に理解されているのでしょうか？

私たちは、この言葉が真実であることを、証明する必要があるのでしょうか？

アジア女性インパクト基金(AWIF)は、アジアの女性と女兒の経済的エンパワーメントを通じて、彼女たちの可能性を最大限に引き出すために、2017年にスタートしたユニークなイニシアチブです。アジアの女性と女兒へのポジティブな社会的インパクト創出するために、ファンド・オブ・ファンズを通じて「意図的に」投資を行うことの重要性と必要性に光を当てた先駆的な基金であり、アジアにおけるジェンダー投資の貴重な一例といえます。AWIFは、「女性への投資」が経済的リターンだけでなく、社会的インパクト創出の両方の軸で実際にポジティブなリターンを生み出すことを実証することが使命の一つと考えています。

私たちの投資はまだ歴史が浅く、社会的インパクトを測定するには時期尚早といえますが、この報告書を共有することで、インパクト測定への我々のコミットメントとインパクト測定の背後にある考え方を共有できれば幸いです。そうすることで、上記の言葉を裏付ける成功例のひとつとして、AWIFの事例を加えることができると考えています。また、インパクトに配慮した真の投資家になるための私たちの試みが、他の同じような志を持つ人々にもインスピレーションを与え、私たちの経験から何か少しでも学べる事があれば願っています。

この場を借りて、本報告書作成にあたって多大な貢献を頂いたオーストラリアのインパクト投資のコンサルティング会社であるブライトライトグループと、日本で社会的インパクトの議論をリードする社会的インパクト・マネジメント・イニシアティブ(SIMI)、そしてインタビューを通じて貴重な時間を割いてインプットと視点を提供してくださった関係者の皆様、そしてAWIFのポートフォリオにあるファンドのファンドマネジャーたちのご協力にお礼を申し上げます。最後に、この報告書を作成するために献身的に働いてくれたAWIFの事務局チームにも大きな感謝を捧げます。

公益財団法人 笹川平和財団
常務理事
安達 一





アジア女性インパクト基金インパクトの測定と管理

アジア女性インパクト基金(AWIF)について	3
なぜAWIFにとってインパクトが重要なのか	4
インパクトの測定と管理(IMM)のステップ	5
インパクト投資家からの学び	6
AWIFのセオリー・オブ・チェンジ(ToC - 変革の理論)	7
フィールドビルディングの事例	8

AWIF全体でのインパクトのとらえ方

AWIF IMMツール	9
AWIFのインパクトの5つの基本要素	10
AWIF インパクト適格性スコアカード&指標	11
NPCのインパクト・リスク分類と基準	13
ポートフォリオレベルにおけるIMM	15

各運用案件のインパクト測定と管理

各運用案件のインパクト・レビュー	16
Japan ASEAN Women Empowerment Fund	19
Beacon Fund	25
Women's World Banking Capital Partners II	31

AWIFの投資家としての貢献 第三者による調査・インタビュー

「投資家による貢献 (Investor contributions)」とは	36
AWIFによる「貢献」に関する調査結果	37
アジアにおけるジェンダー投資市場形成への貢献	38

アジア女性インパクト基金インパクトの測定と管理

アジア女性インパクト基金 (AWIF) について

2017年、公益財団法人 笹川平和財団 (SPF) は、アジアのすべての女性がそれぞれの能力を最大限発揮できる未来を目指し、最大100億円の運用を通じて運用収益とジェンダー課題解決の双方の実現を目指した「アジア女性インパクト基金 (AWIF)」を設立し、2017年から2022年にかけて4件のファンドへの出資を行いました。

AWIFは、ポートフォリオ（資産構成）の100%を、「ステークホルダーに益を与える」、「害を及ぼさない」に加えて、「課題解決に貢献する」*ことを目標として、女性の経済的エンパワーメントに貢献することに焦点を当てたセクターおよび企業に対して投資するファンドにて運用します。AWIFは主にアジアの国々を対象とし、ファンドに組み入れられるポートフォリオ企業の顧客の50%以上が女性であること、女性の経済的エンパワーメントへの貢献、またはジェンダー平等促進を目指し、明確に定義された基準で測定するファンドにて運用をしています。

なお、持続可能な開発目標(SDGs)に関しては、他のセクター固有のSDGsゴール（健康、教育、気候、インフラなど）に関係しつつも、特にゴール5「ジェンダー平等」とゴール8「ディーセント・ワークと経済成長」に注力しています。

*（インパクト投資のインパクト測定・マネジメントの先導者として機能したIMP（インパクト・マネジメント・プロジェクト（IMP）の「インパクト分類マトリックス」の規定するアセットクラスにおけるC投資 - 次頁参照）

BlueOrchard Microfinance Fund に**10億円**



Japan ASEAN Women Empowerment Fundに**3000万ドル**

2019

Beacon Fundに**500万ドル**



Women's World Banking Capital Partners II に**300万ドル**

2022



なぜAWIFにとって社会的インパクトが重要なのか？

笹川平和財団は、ジェンダー投資を通じて、特にアジアの女性と女兒へのポジティブな社会的インパクトを創出したいという明確な意図を持ってAWIFを設立しています。その意図を明確に他者に伝えるために、「セオリー・オブ・チェンジ（変革の理論）」と、インパクトを測定・管理（IMM）を用いています。インパクトを測定・管理（IMM）の枠組みを持つことで、基金の意図からそれることなく、有効性、説明責任、透明性を高めることができます。したがって、IMMは案件の発掘から投資、そしてモニタリングに至るまで、AWIFにとって不可欠なフレームワークとなっています。インパクト創出が重要であると同時に、IMMが効果的なインパクト投資家であり、インパクトがみせかけだけであるような事態を避けるために不可欠であることを強調することで、私たちはインパクト創出を追求し、貢献に対して忠実であり続けることができます。

AWIFでは真のインパクト投資家を目指しながら、IMP（インパクト・マネジメント・プロジェクト）によるインパクト分類マトリックスのなかで、自分たちの目標をどこに置くかを確認しました。

AWIFの対象とするインパクト目標は「C.課題解決に貢献する」です。

インパクト分類マトリックス アセット・企業のインパクト

	A. 危害の回避		B. すべてのステークホルダーへの便益		AWIFの対象
					C. 課題解決に貢献する
投資家としての貢献	測定可能なインパクトを重視しているというシグナルを市場に向けて示す +積極的に関与する +新しいもしくは供給不足の資本市場を発展させる +柔軟な資本を提供する	1	例) エシカルボンド/ファンド	例) ポジティブスクリーニング手法/ベストインクラス型ESGファンド	例) 十分なサービスを受けていない人々へのワクチン供給や再生可能エネルギープロジェクトに資金を提供する（セカンダリーマーケット）ソブリン債への投資
	測定可能なインパクトを重視しているというシグナルを市場に向けて示す +積極的に関与する +新しいもしくは供給不足の資本市場を発展させる +柔軟な資本を提供する	2	例) アクティビストファンド	例) 株主との深い関わり合いを通じてパフォーマンスを向上させるポジティブスクリーニング手法/ベストインクラス型ESGファンド	例) 十分なサービスを受けていない人々の教育や健康に大きな影響を与える事業を選択し、関与する上場/未上場エクイティファンド
	測定可能なインパクトを重視しているというシグナルを市場に向けて示す +積極的に関与する +新しいもしくは供給不足の資本市場を発展させる +柔軟な資本を提供する	3	例) フロンティア市場でネガティブスクリーニングにてアンカー投資を行う不動産ファンド	例) フロンティア市場ポジティブスクリーニングインフラファンド	例) 環境の持続可能性、清潔な水と衛生へのアクセスに大きな影響を与える企業による（プライマリーマーケット）ボンド/ファンド
	測定可能なインパクトを重視しているというシグナルを市場に向けて示す +積極的に関与する +新しいもしくは供給不足の資本市場を発展させる +柔軟な資本を提供する	4	多くは確認されていない投資タイプ	例) フロンティア市場でアンカー投資を行うポジティブスクリーニング未上場エクイティ・インフラファンド	例) 十分なサービスを受けていない人々の所得や雇用に大きな影響を与える事業へのアンカー投資を行うプライベート・エクイティ・ファンド
	測定可能なインパクトを重視しているというシグナルを市場に向けて示す +積極的に関与する +新しいもしくは供給不足の資本市場を発展させる +柔軟な資本を提供する	5	多くは確認されていない投資タイプ	多くは確認されていない投資タイプ	例) 低市場チャリティ債、または、十分なサービスを受けていない人々の雇用に大きな影響を与えるビジネスに焦点を当てた無担保デットファンド
	測定可能なインパクトを重視しているというシグナルを市場に向けて示す +積極的に関与する +新しいもしくは供給不足の資本市場を発展させる +柔軟な資本を提供する	6	多くは確認されていない投資タイプ	多くは確認されていない投資タイプ	例) 恵まれない人々へのエネルギーアクセスに対して影響を持つ事業へのアンカー投資家および積極的な関与を行うベシエント・キャピタル・ファンド

出典: インパクトフロンティアーズ <https://impactfrontiers.org/norms/investment-classification/>

AWIFのインパクト測定・管理 (IMM) のステップ

AWIFは、まず他のインパクト投資家からIMMの実践を学ぶことから始めました。その後、以下の6つのステップを経て、ポートフォリオと各運用先のレベルでIMMを実施しました。

次年度以降、新たなインパクトデータが得られることが予定されるため、IMMは継続的な取り組みとして定期的にフォローアップする必要があります。

00

先行事例の研究

他のインパクト投資家のIMMの実践事例を学ぶため、机上調査や聞き取り調査を行った。

01

セオリー・オブ・
チェンジ

AWIFの当初のセオリー・オブ・チェンジ(ToC - 変革の理論)を見直し、微修正を行った。

02

IMMツール

AWIFに適するIMMツールを開発し、テストした。

03

ポートフォリオ
レベルでのIMM

ポートフォリオ・レベルのインパクトを把握するため、AWIFのIMMツールを用いて測定した。

04

各投資先のIMMを
確認する

AWIFのIMMの確認と我々の学びのために、3件*の投資のIMM実施について確認をした。

05

投資家としての
貢献調査

ファンド・マネージャーの調査および各ステークホルダーにインタビューを行い、AWIFの投資家としての貢献について見解を得た。

06

ポートフォリオ・レ
ベルでのIMMの再検討

ポートフォリオ・レベルでのIMMについて、個々の運用案件のIMMレビューに基づき再検討した。

* : BlueOrchard Microfinance Fund (BOMF) は、AWIFのチケットサイズがファンド全体の0.4%程度に過ぎないため、今回の個別運用レビューでは除外した。

他のインパクト投資家から学ぶ

(2021-22)

インパクト投資を行う14の主要なフィランソロピー団体（財団、ファミリーオフィス等）のIMM実践を調査しました。調査は、インパクト・マネジメントを専門とする社会的インパクト・マネジメント・イニシアティブ（SIMI）に委託し、机上調査および聞き取り調査によって実施しました。

主な調査結果は以下の通りです。

資産運用/インパクト投資のテーマと組織全体のインパクト・テーマとの整合性は極めて重要

- ・資産運用/投資のインパクト・テーマを組織全体のビジョンやミッションと整合させることで、組織の追い求めるミッションと組織におけるインパクト投資の意義や位置づけの整合性をより明確にすることができます。
- ・財団にとって資金運用と助成の部署はテーマや方針で合致することがなかったものの、インパクト投資によって、一貫したテーマをもつことができます。海外財団では、組織のミッションの達成に向けて、財団全体のテーマと投資のテーマをあわせ、より機能させていくための組織構造上の工夫がなされています。

セオリー・オブ・チェンジは必須

- ・多くの調査先が、組織の歴史やブランドを考慮した上で、組織戦略におけるセオリー・オブ・チェンジ（以下ToC）を作成することの重要性について言及していました。インパクト投資戦略を全体戦略の中に位置づけることで、その役割を明確にすることができます。また、戦略の実行のためには、インパクトの成果やKPIの設定、モニタリング、報告の方法などを決めることは必須となります。

インパクト測定・マネジメント（IMM）の効果・効率・信頼性の向上に資する環境整備

- ・インパクト投資のエコシステムを構築・拡大するためのフィールド・ビルディング（新たな投資市場の開拓）の一環として、多くの組織が意図的にIMM実践に向けた道のりや実験的なツールを他のインパクト投資関係者に公開し、共有しています。
- ・インパクト投資のエコシステムを構築・拡大するためのコミュニティを作ることは、実践者間の信頼関係の醸成に役立っています。フィールド・ビルダーには、中立的な立場の者と、仕事として顧客にサービスや独自のツールを提供する者、両方が含まれますが、いずれもフィールド・ビルディングにおいて重要な役割を担っています。

インパクト報告は、組織の「インパクト」に対するコミットメントを示すもの

- ・独自で基金を持っている財団や自前の資金を運用しているファミリーオフィス系の組織は、資金の出し手に対する報告義務がないため、外向けの報告に特に力を入れる必要がありません。しかし、自分たちの投資がどれだけ効果的に投資の意図したインパクトを創出しているかを純粋に知りたいという内発的な動機から、インパクト報告書を発行する組織もいます。また、報告書において独自のIMM手法やツール、フレームワークを示すことで、知識の共有やフィールド・ビルディングを目的として念頭に置く場合もあります。
- ・報告内容の信頼性の担保の仕方として、例えば独立監査人など、健全性をチェックするために第三機関を活用している団体は現時点ではありませんでした。

ポートフォリオ・レベルでのIMMは発展途上

- ・インパクト・テーマが広範に渡ると、それらをポートフォリオレベルで比較・管理するのは困難です。ポートフォリオレベルのKPI設定は、インパクトテーマが広ければ広いほど共通指標を設定するのは難しく、ポートフォリオを完全に集約できません。このような場合、特定のインパクト領域を持つ各投資先について個別にストーリーを示すことで、効果的なコミュニケーションをとろうとしています。
- ・調査した多くのIMMツールは、IMPの5D（インパクトの5つの基本要素）（後述）、インパクト・クラス・マトリックスのABC分類、GIINのIRIS+、SDGsインパクトといったインパクトに関する共通の分析概念やフレームワークと互換性を持つように設計されています。これは、インパクト報告の標準化が進んでいることを意味します。
- ・その他、先進的なポートフォリオレベルのIMMの取り組みとしては、インパクトリスク分類、インパクト資本効率、独自構築したインパクトのスコアカードなどの多様な方法論（いずれも実験段階）が見受けられました。

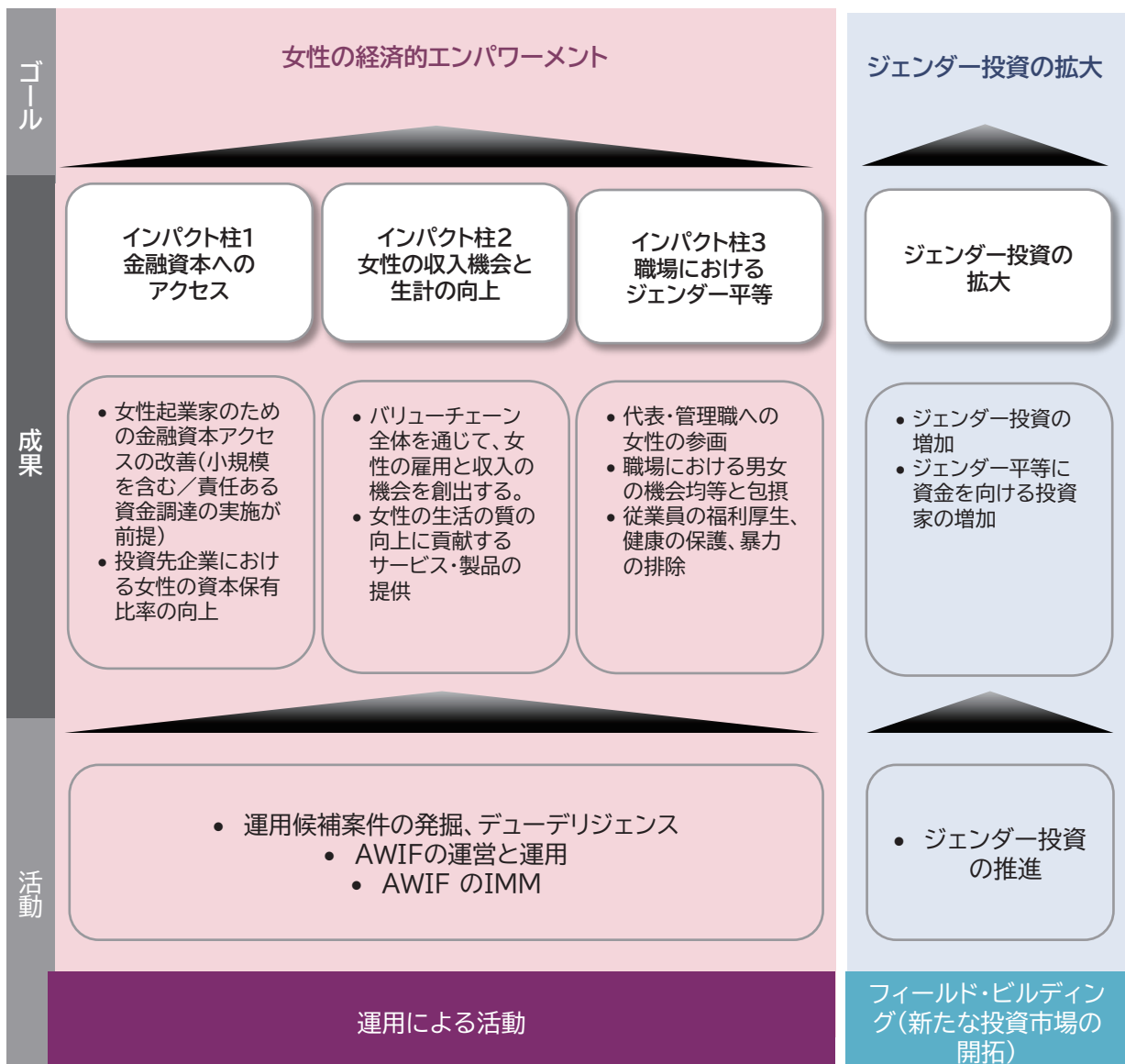
AWIFのセオリー・オブ・チェンジ (ToC - 変革の理論)

アジア女性インパクト基金 (AWIF) は、アジアのすべての女性がそれぞれの能力を最大限発揮できる未来を目指します。そのために、AWIFは資産運用の一環として財団の資産を活用し、アジア地域の女性のエンパワーメントとジェンダー平等の向上に貢献しつつ財務的リターンと社会的インパクト創出を目指します。AWIFでは、女性のエンパワーメントにおいて、経済的自立・エンパワーメントは不可欠な要素であると考え、女性の経済的エンパワーメントに注力しています。

以下のTheory of Change (ToC-変革の理論) は、設立当初のToCから時を経て、IMMのフレームワークを構築するプロセスの中で若干の改良が加えられました。

VISION
アジアのすべての女性がそれぞれの能力を最大限発揮できる未来を目指します

MISSION
アジア地域の女性および女性起業家による金融アクセスの改善、女性起業家への知識や技術といった必要な支援の提供、およびジェンダー平等で包括的な社会の実現に貢献する



フィールドビルディングの事例

AWIFは、より多くの投資家がジェンダー視点を適用し、女性・女兒のために資金を投じる流れをつくるために、投資活動と併せてフィールド・ビルディング（新たな投資市場の開拓）活動も行っています。これまでジェンダー投資に関する調査や報告書の発行や発信を通じ、質の高いデータやエビデンスの蓄積に貢献したり、インパクト投資関係者を対象としたジェンダー投資の学習プログラムであるジェンダー投資研修プログラムを開催してきました。

アジア地域初となるジェンダー投資市場概況調査

(2019年-2020年)



ジェンダー投資のフィールド・ビルディングの一環として、カタリスト・アット・ラージ（Catalyst at Large）とサガナ（Sagana）と協力し、東アジアと東南アジアを対象とする公開市場および非公開市場におけるジェンダー投資案件の全容を俯瞰し、本市場の今後の成長や展開を追う際の基点となることを主眼として調査報告書「2019年ジェンダー投資概況調査：東アジア・東南アジア」を発表しました。

本調査書では、非公開および公開市場の33のジェンダー投資案件を紹介しています。

AWIFは、本報告書の発行や、本報告書から得られた知見に焦点を当てた様々なワークショップの開催を通じて、市場状況を長期的に追跡するためのベースラインの設定、東・東南アジアの文脈における投資へのジェンダー視点の適用方法、ジェンダー視点の統合の最前線で活躍している実務家から得られた学びを提供しています。

<https://www.spf.org/gender/publications/20200715.html>

ジェンダー平等に関するデータ開示

(2019年、2022年)

またAWIFは、世界各地の企業のジェンダーに関するデータと分析を提供するシンクタンクNGOのEquileapと協力し、2019年と2022年に、アジアにおける時価総額20億ドル以上の上場企業、またはアジア太平洋市場の主要なインデックスに上場している企業を対象としたジェンダー平等の度合いを示す報告書を発行しました。報告書では、職員全体、シニアマネージャー、経営層、取締役会における男女比率、男女間賃金格差、公正な採用と昇進制度、サプライチェーンにおける男女比や職場の安全など、Equileapの独自の包括的な19項目よりなるジェンダー平等スコアカード（審査表）を用い、企業を評価し、ランキングしました。

AWIFは、ジェンダー・スマート投資サミットやアジア・ベンチャー・フィランソロピー・ネットワークなどの国際会議で報告書を発表し、メディアから高い注目を集めました。また、Equileapのスコアリング手法により分析したデータを活用し、モーニングスター先進国市場（除く日本）ジェンダー・ダイバーシティ・インデックスなどの新しいインデックスが誕生しました。このインデックスは世界最大級の機関資産家である日本の年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が、長期的な投資収益の拡大には、投資先及び市場全体の持続的成長が必要との考えに沿ってESG指数として2020年度に採用し3000億円規模で運用し始めました。今後もこのようなジェンダーデータを活用したインデックスが、ジェンダー平等や女性のエンパワーメントを目的としたファンドの組成につながることを期待されます。



SPFジェンダーイノベーション事業グループ長が国際会議での講演で報告書を紹介しました。

AWIF全体でのインパクトのとらえ方

AWIF IMMツール

基金全体のIMM

AWIFは、3つのツールを組み合わせ、基金全体のIMM実践を行いました。

- ・ **インパクトの5つの基本要素** インパクト・マネジメント・プロジェクト（以下IMP）は、3,000社以上の企業や投資家からなる実践者コミュニティで、現在IMMにおいて世界的に広く使われている「インパクトの5つの基本要素」の概念を開発しました。5つの要素はWHAT（アウトカムの内容や重要度）、WHO（アウトカムが現れている対象）、HOW MUCH（規模、改善度、効率性）、CONTRIBUTION（変化に対する投資家の貢献度合い）、RISK（予期されるインパクトがなかった場合のリスク）から構成されています。※IMPは2021年に解散しましたが、後継団体のインパクト・フロンティアーズが活動を続けています。

Web : <https://impactfrontiers.org/norms/five-dimensions-of-impact/>

- ・ **AWIFインパクト適格性スコアカード** IMPの「インパクトの5つの基本要素」に基づき、AWIF専用に開発されたツールです。スコアカードは4つの側面（「WHAT」、「WHO」、「HOW MUCH」、「CONTRIBUTION」）をカバーしています。

- ・ **NPC「インパクト・リスク分類」** ソーシャルセクターのシンクタンクであるニューフィランソロピーキャピタル (NPC)がインパクト投資を行うKLフェリシタス財団(KLF)のIMMのために開発したものです。このツールは、インパクトの5つの側面の「RISK」に関してファンドマネジャーのIMMの実践のレベルを評価します。

Web : <https://www.thinknpc.org/resource-hub/assessing-the-impact-practices-of-impact-investments/#:~:text=The%20NPC's%20Impact%20Risk%20Classification,some%20degree%20of%20impact%20focus.>

各運用ファンドレベルでのIMM

各ファンドの運用会社は独自のIMMツールを用いて、インパクトに関する報告を定期的に投資家に行っています。AWIFのIMMの一環として、AWIFはIRIS+の指標カタログを使用して、各投資のインパクトの構造を理解することを試みました。

- ・ **IRIS+ 指標のカタログ** グローバル投資ネットワーク（GIIN）が作成したインパクトに関する指標のカタログであり、インパクト投資家が投資のインパクトを測定・管理するために活用する、最も広く受け入れられているツールの1つです。AWIFの各運用案件については、各ファンド・マネージャーと協議の上、それぞれの指標を抽出しました。

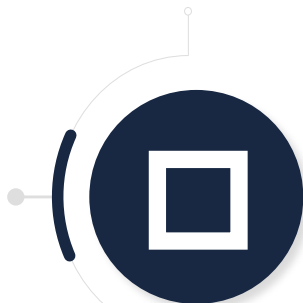
Web : <https://iris.thegiin.org/metrics/>

AWIFのインパクトの5つの基本要素

AWIFのIMMツール開発にあたって、AWIFの「セオリー・オブ・チェンジ」に基づき、IMPの「5つの基本要素」を下記の通り定義しました。次頁のAWIFインパクト適格性スコアカードは、IMPのインパクトの5つの基本要素のうち4つ（「WHAT」「WHO」「HOW MUCH」「CONTRIBUTION」）をベースに作成し、NPCのインパクトリスク分類で「RISK」の要素を扱っています。

WHAT

- 各ファンドのインパクト・テーマとAWIFのセオリー・オブ・チェンジの柱1～3との整合性、IMMシステムの緻密さの程度
- ファンドの投資先の国のSDGs5(ジェンダー平等)の進捗状況 (<https://dashboards.sdgindex.org/rankings>)



WHO

- 受益者層
- 世界経済フォーラムが発表したグローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2021に基づく、「女性の経済活動への参加と機会」におけるファンドの投資先の国の進捗状況



HOW MUCH

- [規模] 創出または支援した直接雇用の数
- [改善度] 生活の質の改善に関する状況(実績、受益者の意見)
- [効率性] 投資額100万ドルあたりで生み出されるジェンダー・インパクトの程度



CONTRIBUTION

- インパクト投資家としてのAWIFによる、インパクト強化やジェンダー投資エコシステムへの付加価値の提供の程度



RISK

- インパクト投資の原理・原則、目的、成果、変化、影響に対するリスクの程度



AWIF インパクト適格性スコアカード&指標

スコア	WHAT		WHO	
	ファンドが目指すインパクトの内容	ステークホルダーにとっての変化の重要度	受益者層	他国との比較における遅れの度合い
	各ファンドのインパクト・テーマとAWIFのセオリー・オブ・チェンジ柱1~3との整合性、IMMシステムの緻密さの程度	ファンドの投資先の国のSDGs5（ジェンダー平等）の進捗状況	受益者層	グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2021に基づく、「女性の経済活動への参加と機会」におけるファンドの投資先の国の進捗状況
1	主にESGリスクに焦点を当てたファンドで、概ねジェンダー視点に貢献する意図を持つが、データの収集は行わない	下記以外の結果またはSDGsマッピングなし	受益者の性別データがない、もしくは、女性が受益者の30%未満である	以下以外の結果、または推定値が得られない
2	ファンドが、少なくとも1つのAWIFの柱に沿ったインパクト・テーマを持ち、SDG5や8に関連した主要な指標データを収集しているが、目標値を設定しておらず、包括的なIMMシステムは構築していない	ポートフォリオの20~40%がSDG5の進捗が遅れている、または達成に向けた行程が停滞している国に向けられている	受益者の30~50%以上が女性であるが、社会的にどの層にあるかについては配慮外である	ポートフォリオの20~40%がグローバル・ジェンダー・ギャップ・レポートにおけるランキング下位50%以下の国に向けられている
3	ファンドが、少なくとも1つのAWIFの柱に沿ったインパクト・テーマを持ち、SDG5や8に関連した主要な指標データを収集しており、さらに具体的な目標値を設定しており包括的なIMMシステムを構築している	ポートフォリオの40~60%がSDG5の進捗が遅れている、または達成に向けた行程が停滞している国に向けられている	受益者の50%以上が女性であり、何らかのベースラインデータやアプローチに基づいて、社会的弱者の層にある女性に届くことを配慮している	ポートフォリオの40~60%がグローバル・ジェンダー・ギャップ・レポートにおけるランキング下位50%以下の国に向けられている
4	ファンドが、3つすべてのAWIFの柱に沿ったインパクト・テーマを持ち、SDG5や8に関連した主要な指標データを収集しており、さらに具体的な目標値を設定しており包括的なIMMシステムを構築している	ポートフォリオの60%以上がSDG5の進捗が遅れており、達成の行程を阻む重大な困難に直面している国に向けられている	受益者の50%以上が女性であり、社会的弱者の層にある女性（貧困線以下の層、その他明確なベースラインデータやアプローチに基づいて周辺化されていることが明確な層）に届くことを非常に優先している	ポートフォリオの60%以上がグローバル・ジェンダー・ギャップ・レポートにおけるランキング下位50%以下の国に向けられている
配分	5	2.5	2.5	2.5
最大スコア	20	10	10	10

スコア	HOW MUCH			CONTRIBUTION
	規模	改善度	効率性	投資家による貢献
	創出または支援した直接雇用の数	生活の質の改善に関する状況（実績、受益者の意見）	投資額100万ドルあたりで生み出されるジェンダー・インパクトの程度	インパクト投資家としてのAWIFによる、インパクト強化やジェンダー投資エコシステムへの付加価値の提供の程度
1	バリューチェーン全体で200人以下の直接雇用が創出・支援されている	インパクト・テーマについて、エビデンス、成果・インパクトの追跡データおよび受益者からのインプットのいずれもない	バリューチェーン全体で200人以下の直接雇用が創出・支援されている	AWIFは、AWIFの運用基準を満たす案件に運用する以外は、投資家としての付加価値は限定的である
2	バリューチェーン全体で201～500人以上の直接雇用が創出・支援されている	インパクト・テーマについて、生活の変化の程度について、①何らかのエビデンスと②成果・インパクトの追跡データおよび③受益者からのインプットのうち1つの要素がある	バリューチェーン全体で201～500人以上の直接雇用が創出・支援されている	AWIFは、インパクトが重要であることを発信している
3	バリューチェーン全体で501～2000人以上の直接雇用が創出・支援されている	インパクト・テーマについて、生活の変化の程度について、①何らかのエビデンスと②成果・インパクトの追跡データおよび③受益者からのインプットのいずれか2つの要素がある	バリューチェーン全体で501～2000人以上の直接雇用が創出・支援されている	AWIFは、インパクトが重要であることを発信し、ファンドや最終投資先と積極的にかかわっている
4	バリューチェーン全体で2000人以上の直接雇用が創出・支援されている	インパクト・テーマについて、生活の変化の程度について、①強固なエビデンスと②成果・インパクトの追跡データおよび③受益者からのインプットのすべての要素がある	バリューチェーン全体で2000人以上の直接雇用が創出・支援されている	AWIFは、インパクトが重要であることを発信し、ファンドや最終投資先と積極的にかかわり、新しい市場や資金が集まりにくい市場を成長させている（触媒的投資化として認識されている等）
配分	2.5	2.5	2.5	5
最大スコア	10	10	10	20

NPCのインパクト・リスク分類と基準

対象ファンドや投資先のインパクト・リスクの評価については、NPCのインパクト・リスク分類枠組みを活用することでAWIFが対象とする幅広い資産クラスに位置するファンドの評価が可能となり、非常に有効です。下記のスコアの総計に応じて、ファンドのインパクト創出の進捗を4つの段階に分類します（次頁参照）。

スコア	Principles	Purpose
0	インパクトがファンドとその運用会社にとって不可欠であり、意思決定の原動力となっていることを証明する	インパクト・テーマ/ToCまたはロジックモデルのエビデンスがあり、それが誰のために、どのようにインパクトを生み出すかについて理解されている
1	ファンドの意図が、社会的/環境的インパクトの創出と直接関連していない。インパクトに対する認識がなく、インパクトの発現はファンド成功の要素とされない	明確なミッションやToCがない。誰のために、どのような効果があるのか、認識も理解もないまま、投資を行う 例：ESGリスクの軽減、防衛的なスクリーニング投資
2	ファンドの意図とインパクト・ゴールが重なる部分がある。インパクトに対する認識を示しているが、インパクトの発現はファンドの成功の要素とされない	ミッションが曖昧。誰のために、どのような効果があるのかをある程度理解した上で資しているが、事業がニーズに対応するように設計されていない。社会的・環境的な悪影響を防ごうとする 例：防衛的なスクリーニングから、ESG要素を積極的に投資判断に取り入れるようになる
3	ファンドの意図はインパクト・ゴールを反映している。ファンドの成功はインパクトの発現にかかっている	行動指針がある。誰のために、どのような効果があるのかをよりよく理解した上で、投資する。 例：事業の一部が社会・環境に意図的に影響を与えるプロダクト・サービスを提供する案件への投資。投資戦略の多様化
4	インパクト・ゴールに連動したファンドの意図インパクトが経営判断の原動力となっている。学習する組織であり、優れた実践をリードしている。GIIRS（Global Impact Investing Rating System）評価または類似の評価を採用。ミッションからぶれずまたはBコープ認証に反映されたインパクトの気概をもつ	明確な行動指針とToCがある。誰のために、どのような効果があるのかをよく理解した上で、投資を行う。 例：事業の大部分または全部が、社会・環境に意図的に影響を与えるプロダクト・サービスを提供している案件への投資

スコア	Outputs	Change or Outcomes	Impact
	ファンドが、受益者に関するサービスの深さと規模を示すデータを収集し、報告している	ファンドが投資先から活動によって生じた変化に関するデータを収集し報告している証拠があり、活動から成果が得られた可能性を示すエビデンスもある	投資が行われずとも起こったであろう変化を超えて、投資によって追加的な変化が生まれたことを示すエビデンスがある
0	対象の受益者のアウトプットデータが存在しない	受益者層のアウトカムデータや変化を示すデータが存在しない	検討されていない。投資規模が小さい。
1	影響を部分的にしか示さない限られたアウトプットデータで、暫定的なフォーマットで報告されている。文脈や傾向の分析がない。データが更新されていない アウトプットデータの例：利用者の類型、対象人数、頻度、ESGパフォーマンス比較	社会・環境に関する正の変化を実証するアウトカムデータまたは事例研究が限られている。 アウトカムデータの例：製品・サービスに関するフィードバック、製品・サービスによる収入、行動、知識などの変化	製品・サービスによってどのような追加的な変化が生まれたのか、ある程度検討されている、または示されている。投資規模が、新たな資本を呼び込む付加的なものであることを示唆している。 例：それまで市場になかった製品やサービスによって変化をもたらすことが示唆されている
2	効果の量と質に関連する何らかのアウトプットデータがある（少なくとも2〜3個の主要指標）。前年比のための一貫したフォーマットがありデータが更新されている（過去24ヶ月以内）。目標に対する、前年比のトレンド分析、ベンチマークに対するなど、状況にあったデータの分析がある	社会・環境に関する正の変化を実証するアウトカムデータまたは事例研究ある。アウトカムの持続期間や意図しない結果の追跡が行われている。変化の因果関係についてエビデンスを構築し始めている	アウトプット／アウトカムデータ分析において、ベンチマークや状況を参照することで、投資がなくても発現していたであろう変化との関連性を理解するためのアプローチが開発されている 例：修復や保全プロジェクト、新しい市場や供給不足の市場の成長
3	効果の質と量を明確に示すさまざまなアウトプットデータ（3つ以上の主要指標、該当する場合は少なくとも2年間にわたる）があり、データが更新されている（過去12ヶ月以内）。目標値、前年度比、ベンチマークなど、状況にあったデータの分析がある	社会・環境に関する正の変化の大きさや持続期間をを実証するアウトカムデータがあり、これを裏付ける質の高い事例研究ある。意図しない結果の追跡が行われており、変化の因果関係についてエビデンスが構築されている	投資がなくても発現していたであろう変化と投資による変化との関連性を厳密に把握するツールがある。 例：投資をしたグループ、していないグループとの比較等

ステージ1 (0〜6点)	強いインパクトの原則と目的があるものの、実績が限定的か、あるいは存在しない
ステージ2 (7〜9点)	強いインパクトの原則と目的があるものの、質の高いインパクトデータは限定的で、予期しない結果の可能性を追跡していない
ステージ3 (10〜12点)	強いインパクトの原則と目的があり、量的なインパクトデータを報告し、エビデンスに基づく質の高いインパクトを実証している
ステージ4 (13〜15点)	強いインパクトの原則と目的があり、量的なインパクトデータを報告し、エビデンスに基づく質の高いインパクトを実証しているとともに、非常に触媒的と認識されている

ポートフォリオ・レベルにおけるIMM

インパクトの管理、測定（IMM）の流れ

下の図は、AWIFの運用プロセスにおいてIMMがどのように適用されているかを示しています。なお、この図は運用プロセスにおけるインパクトに関するフローであり、財務的なリターンに関するものではありません。

手法／ツール

スクリーニング

- 運用案件がもたらす潜在的なインパクトを分類する

IMPインパクトクラスマトリックス

- ハイレベルなインパクト評価とAWIFのインパクトの柱との整合性分析を完了する

デューデリジェンス

- インパクトの理解 - 枠組み

IMP インパクト5つの基本要素

- 投資のインパクト採点

AWIF インパクト適格性スコアカード

- ファンド／投資機会のインパクト・リスクの判断

- ESGリスクへの配慮

NPCインパクト・リスク分類

契約締結

- 投資ファンドと交渉し、インパクト報告・追跡指標に合意する。これには、受益者のフィードバックループやウェルビーイングデータを得るために、運用会社との協働による深掘りを実施する必要がある場合も含まれる

投資契約書、インパクトに関するサイドレター作成及び合意

モニタリング

- 投資ファンドからの報告書を確認し、各ファンドのインパクト適格性スコアとインパクト・リスク分類を更新。事前評価の見直しと各ファンドの進捗をモニタリングする。モニタリング結果を鑑みて適宜ファンド解約等のタイミングを検討する

AWIF インパクト適格性スコアカード

NPCのインパクト・リスク分類

償還・解約

- 合意された指標およびファンドが実施するその他の社会的インパクトへの取り組みに基づいた、投資ファンドによるインパクトに関するパフォーマンスについて、定期的なモニタリングを実施する
- 受益者調査データを入手するため、ファンドを選抜し、深掘り調査を行う。

投資のライフサイクルにおいてAWIF運用がファンドや最終投資先にどのような影響を与えたかを評価し、改善点や将来の学習点を特定するために、インパクト評価を検討する

各運用案件のインパクト測定と管理

各運用案件のインパクト・レビュー

AWIFの各運用案件のIMMが、AWIFのインパクト・ゴールや指標とどの程度一致するかを確認するために詳細なインパクト・レビューを行いました。また、投資ファンド側にインパクトの報告やインパクトに関する詳細レビューを依頼することで、AWIFにとってインパクトが重要であり、そのインパクト創出に関心を持っているというシグナルを伝えることも目指しました。詳細なインパクトレビュー対象投資案件は、Japan ASEAN Women Empowerment Fund (JAWEF)、Beacon Fund、Women World Banking Capital Partner's II (WWWBCPII) であり、以下の方法で深掘り調査を行いました。（豪Brightlight社への業務委託にて実施）なお、最初の運用先であるBlueOrchard Microfinance Fund (BOMF) は、AWIFの運用資産規模がBOMFのファンド総額に対し約0.4%と少ないため、今回のレビューから除外しました。

各運用案件のインパクト・レビューが目指したこと

1. 各ファンドのインパクト管理・測定手法の主要要素を理解し、それがAWIFのインパクト目標にどのように合致するかを理解する。
2. 各ファンドのインパクト指標、インパクト報告を確認し、AWIFが意図するインパクト報告指標とどのように整合しているかを比較することで、各ファンドのインパクトデータを整理する。
3. AWIFの報告書の一部として紹介でき得るファンドの取組事例を収集する。
4. 改善可能な領域についてファンドに提言を行う
5. 運用会社のインパクト・パフォーマンスをレビューし、変化が見られたかどうかを判断し、スコアを改善するための提案を行う。
6. AWIFの投資家としての貢献について、投資ファンドの考えを知る。

調査手法

1. デスクトップレビュー

- ・すべての資料は、AWIFおよび各投資ファンドからBrightlightに提供されたもので、インパクト報告書、インパクト・テーマ、ツール、事例研究、投資報告書、その他資料が含まれます。

2. 投資ファンドへの照会

- ・AWIFとBrightlightは、インタビュー設問を作成し各ファンドのIMM担当者に対して、それぞれインタビュー（1時間）を共同で実施。
- ・Brightlightは、インタビュー後にインタビュー対象者にフォローアップを行い、詳細な説明を求めたり、インタビュー中に言及された資料を求めるなど、確認を行いました。
- ・また、Brightlightはファンドの担当ファンド・マネージャーを対象に、投資家としてのAWIFの貢献に関する4つの質問から構成されるオンライン調査を実施しました。

インパクト指標

AWIFはインパクト指標を設定しています。それに対してファンドの運用会社がファンドとファンド投資先のデータを収集することを期待しています。すべてのファンドが以下に示すすべてのデータを埋めることができるわけではありません。運用会社と、以下に設定された基準に対して、それぞれのファンドの目的に最も関連するデータを選択し、選択的にデータ収集することを同意しています。

		IRIS+	ファンド	投資先
▶ A.オーナーシップ				
取締役会:女性	報告期間終了時点における、組織の取締役会またはその他マネジメント層の女性の数	OI8118		
女性の所有率	報告期間終了時点における、女性が所有している会社の割合(%)	OI2840		
創業者: 女性	報告期間終了時点における、組織の創業者のうち女性で、会社で積極的な役割を果たしている人の数	OI8197		
▶ B.雇用・社会保障				
差別禁止	従業員のための具体的かつ明文化された差別撤廃方針と、この方針の遵守を監視するシステム	OI9331		
多様性	多様性に関する文書化された方針と、この方針の遵守を監視するシステム	OI9485		
公正な採用	性別、人種、肌の色、障害、政治的見解、性的指向、年齢、宗教、社会的・民族的出身に関係なく、従業員を平等に採用するための明文化された方針	OI1150		
昇進・昇格における機会平等	性別、人種、肌の色、障害、政治的見解、性的指向、年齢、宗教、社会的・民族的出身に関係なく、従業員の昇進・昇格を支援するための明文化された方針	OI4884		
公正な補償	従業員に対して公正かつ公平な報酬を与えるための明文化された方針と、この方針の遵守を監視するシステム	OI3819		
不当解雇禁止	従業員の不当な解雇を禁止するための明文化された方針と実践、およびこの方針の遵守を監視するシステム	OI9478		
セクシャルハラスメント	国際的に認知された基準に沿った、セクシャルハラスメントに対処するための明文化された方針	OI9088		
女性のキャリア開発	職場における女性の地位向上のための取り組みの実施	OD4232		
▶ C.従業員				
常勤雇用:女性の従業員	常勤の女性従業員数	OI6213		
常勤雇用:女性の管理職者	常勤の女性管理職数	OI1571		
パートタイム(PT)雇用:女性の従業員	パートタイムの女性従業員数	OI8838		
常勤雇用:女性従業員の賃金	組織のすべての女性常勤従業員に支払われる賃金(賞与を含む、手当を除く)の金額	OI8941		
常勤雇用:女性管理職者の賃金	組織の全女性管理職(マネージャー)に対して支払われる賃金(賞与を含む、手当を除く)の金額。	OI5247		
PT雇用:女性の賃金	組織のすべての女性パートタイム従業員に支払われる賃金(賞与を含む、手当を除く)の金額	OI8725		
従業員の昇進:女性	組織内の女性昇進者数	OI8646		
昇進のジェンダー別割合	組織内の女性昇進者数と、女性以外の昇進者の比率	PI9467		
賃金のジェンダー平等	組織の女性従業員に支払われた特定職種の平均賃金と、組織の男性従業員に支払われた同特定職種の平均賃金の比率。	OI1855		
▶ D.サプライヤー				
サプライヤー:女性	報告期間中に組織に製品またはサービスを販売した女性の実人数	PI1728		
サプライヤーへの支払い:女性	報告期間中に組織に製品またはサービスを販売した女性に対して、組織が支払った金額	PI2302		

インパクト指標（続き）

			IRIS+	ファンド	投資先
E.クライアント(ファイナンシャルサービスのみ)					
顧客:女性	顧客となった女性の実人数	PI8330			
顧客: 零細農家	顧客となった零細農家の実人数	PI6372			
平均ローン金額	組織が支出した平均的な融資額	PI5160			

Japan ASEAN Women Empowerment Fund (JAWEF) 社会的インパクトに関するレビュー

Japan ASEAN Women Empowerment Fund (JAWEF) は、ASEAN地域を中心とするアジア諸国の女性起業家を支援するマイクロファイナンス機関(MFI)に融資するマイクロ・ファイナンス・ファンドです。BlueOrchardが2016年に立ち上げたJAWEFは、公的セクター（JBIC/JICA）が核となる投資家として出資し、民間投資家が低リスクで投資を行えるように保証、損失吸収やリスク・シェアリングの仕組みを組入れているブレンデッド・ファイナンス構造のファンドです。JAWEFは、従来の金融にアクセスできない地方に住む女性起業家等を主な顧客とする金融機関を対象としています。

投資の意義

女性は平等な機会を与えられておらず、一部の国では、女性は労働力・起業の機会から除外されたままです。経済的および社会的に女性にエンパワーメントを図ることは、以下につながる事が証明されています。

- ・ 経済力強化
- ・ 国際的に設定された開発目標と持続可能性の達成
- ・ 女性本人だけでなく、家族全体、地域、ひいては社会全体の生活の質の向上

ASEAN加盟国は過去数十年で貧困率を低下させましたが、この地域では依然として女性が男性よりも貧困状態にある傾向があります。女性が家事労働や育児・介護などの家庭生活活動に従事するという、固定的性別役割分担が根深く残っており、一部の女性は就業やフルタイムのシフトでの勤務ができなくなるなどの問題が見られます。
(中略) クレジット・ギャップを埋めることは、地域全体の経済的繁栄を確実にすることができます。

出典：JAWEF Introduction Presentation as of 28 July 2021

Japan ASEAN Women Empowerment Fund (JAWEF) 社会的インパクトに関するレビュー

1

インパクト・テーマ

JAWEFのToCは、女性のエンパワーメントにより、1.より強い経済の構築、2.家族とコミュニティの生活の質の向上、3.持続可能な開発目標（SDGs）の達成を目指して、あらゆる分野に女性が参画することを軸としています。

JAWEFの投資先は、以下の要件を満たすマイクロファイナンス機関(以下MFI)です。

- 主な女性が顧客で（60%以上）
- かつ/または女性向けマイクロファイナンス金融商品を持っている、または女性向けの金融商品を開発することを明確に意図している

JAWEFは、ジェンダー研修による投資先のサポート、女性により適した新製品の設計と既存の商品の改善、より多くの女性に必要なサービスを提供するためのマーケティングキャンペーンの改善に関心を持っています。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

JAWEFは女性のエンパワーメントを目的としており、3階層構造（ファーストロス・トランシェ、メザニン・トランシェ、シニア・トランシェ）により、民間の機関投資家を動員する優先劣後構造のブレンデッド・ファイナンス・ファンドです。

ジェンダー格差を解消するために、十分なサービスを受けていない市場に投資する本ファンドの方針は、AWIFの目標に強く合致しています。

また、本ファンドのインパクト・テーマは、以下のAWIFのインパクトの柱と合致しています。

- 柱1：金融資本へのアクセス
- 柱2：女性の収入機会と生計の向上

2

インパクト・ゴール及び関連SDGs

JAWEFは、インパクト・ゴールに対する進捗状況を把握するために、以下のような指標を測定することを目指しています。

- 零細起業家の数
- 零細起業家のうち、女性が占める割合
- 非金融サービス（研修/金融教育/顧客保護サービスなど）を提供しているMFIの割合
- 女性に対し事業のために融資された融資残高の割合
- マイクロファイナンス機関における従業員および役員の女性の割合

関連するSDGs



AWIFのIMM枠組みとの関連性

SDGs1、5、8、10に対する本ファンドの取り組みは、AWIFのインパクト枠組みに完全に合致しています。インパクト・ゴールと指標は、AWIFが柱1（金融資本へのアクセス）および柱2（女性の収入機会と生計の向上）の一部について求める指標と一致しており、また、JAWEFは、融資件数の生産性に基づき、雇用の創出件数を推計しています。

JAWEFはその他の指標のデータも収集しています。

3

ジェンダー視点

JAWEFは、投資プロセス全体を通じてジェンダー視点を適用しています。JAWEFのインパクトスコアカードは、IMPの「5つの基本要素」を中心に構成されており、基本要素（What, How Much, Who）にジェンダー視点を適用しています。例えば、JAWEFのインパクト評価の一環として、インパクトに対する意図、女性受益者に関連するインパクトKPI（インパクトへの意図が、女性に対する責任ある金融サービス提供の場合）、およびそのような金融サービス提供がなされている顧客ベースを性別別に分類して、全体的なインパクトスコアを算出します。さらに、ESG評価には、MFIの従業員と取締役会の構成、および女性を対象に提供されている金融および非金融の商品とサービスの分析が含まれています。

なお、JAWEFは、投資先ごとに正式なジェンダー行動計画を策定していませんが、女性の零細起業家への投資や、女性向け金融商品を持つマイクロファイナンス機関への投資をより広範に支援しています。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

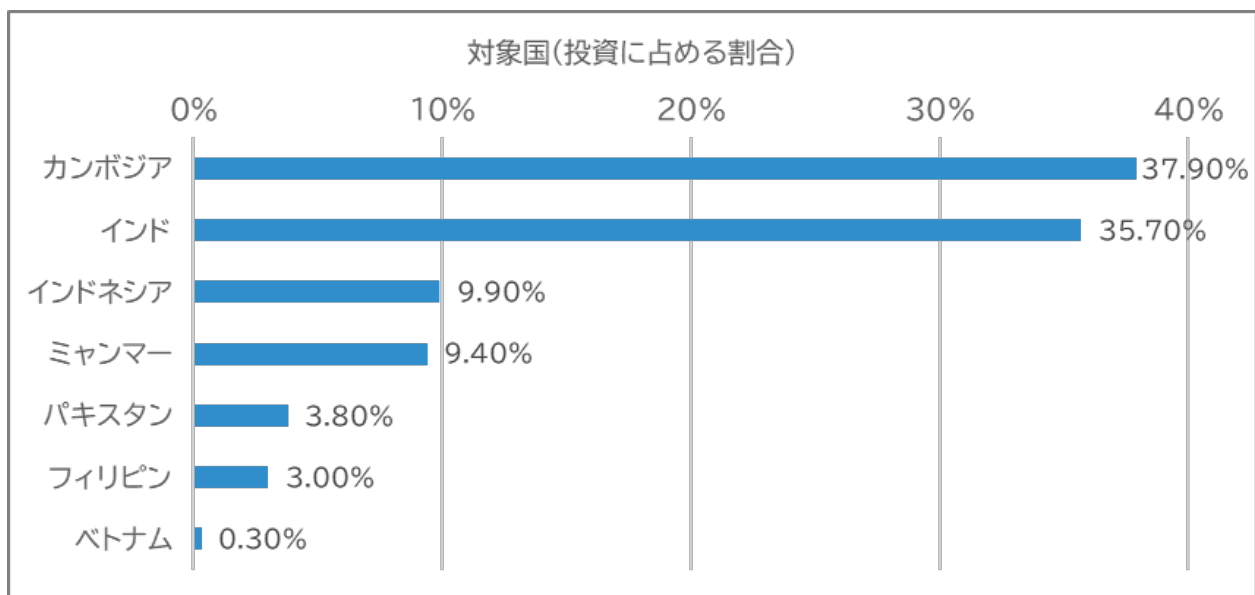
ジェンダー投資戦略はJAWEFのIMMの中核であり、AWIFの目標と強く関連しており、さらに、2X Challenge*にも合致しています（女性の起業家、リーダー、従業員、消費者、金融仲介業者への投資）。

*2X Challengeは、開発機関系金融や国際金融、および広範な民間セクターが世界の女性に投資することを推進するための大規模なコミットメントとして、2018年のG7サミットで発表されました。2X Challengeは「2X基準」と呼ばれるジェンダー投資とインパクト評価のフレームワークを作り、ジェンダー投資のグローバルな業界標準として使用されています。

4

対象地域

カンボジア（38%）、インド（36%以上）、インドネシア、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、ベトナムを対象としています（JAWEF 2023年3月31日付データより）。



AWIFのIMM枠組みとの関連性

これらの国はすべてAWIFが対象とする地域です。

5

受益者層

以下の特徴を持つ、主としてASEAN諸国のマイクロファイナンス機関を対象としています。

- ・顧客(借り手)の大多数が女性であるマイクロファイナンス機関
- ・女性向け金融商品を提供している、または開発しようとしているマイクロファイナンス機関

なお、JAWEF全体では顧客の91%以上が女性（2022年第4四半期報告時点）。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

ASEANの女性の零細起業家を対象とする本ファンドは、アジアにおける女性の生活向上とジェンダー課題解決に向けた障壁を崩すための触媒として投資を行うAWIFのミッションと合致しています。

6

インパクトデータの収集と報告

デューデリジェンス時にマイクロファイナンス機関ごとにKPIを設定するとともに、ポートフォリオ全体でもインパクト・ゴールに応じた指標のデータを収集しています。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

AWIFが求める指標の大部分をファンドレベルおよび投資先レベルで報告することが可能です。柱2については、各融資の最終的な利用状況を追跡し、国際金融公社（IFC）のデータに基づいて国ごとの雇用創出数を推定しています。

SDGsに関しては、Blueorchard社のウェブサイトではファンドごとの貢献度を確認できるほか、四半期報告でより詳細な概要を見ることができます。また、今後は欧州委員会が定めるサステナブルファイナンス開示規則（SFDR）に沿って、より詳細な評価を行う予定です。

カンボジア

マイクロファイナンス機関Prasac Microfinance Institution Plc は、カンボジアのマイクロファイナンス機関のうち上位10位に入るカンボジアを代表するマイクロファイナンス機関です。Prasacは農家が利用しやすいローンや、中小企業向けの中型ローンを提供しています。また、農村部や都市部の家庭や企業向けに、預金、貯蓄、支払い、送金などのサービスも提供しています。

2022年12月31日現在、Prasacは50万人以上の顧客を獲得しており、そのうち約78%が女性で、大半は農村部に在住しています。Prasacは、コア・バンキング・システム「Oracle FLEXCUBE」やモバイル・バンキング・アプリケーションのアップグレードを行うほか、融資担当者にタブレットを配布し、電子ローン・オリジネーション・システム(LOS)の試験運用を行うなど、デジタル化にも積極的に取り組んでいます。



インドネシア



マイクロファイナンス機関PT Mitra Bisnis Keluarga Ventura (MBK) は、2003年から事業を展開し、主に農村部や都市部郊外の低所得層の女性を対象としています。2021年10月末まで、MBKは120万人以上の顧客を獲得し、そのうち100%が女性で、75%が国の貧困ライン以下で生活しています。

MBKの主な金融商品は、約100~300ドル程度のローン貸付です。また、金利0%の緊急時ローン貸付など、顧客のニーズに合わせた金融商品設計を積極的に行っています。ローンを組む条件として、事前に金融教育の研修を義務付けるなど、全体として顧客保護の意識が高いマイクロファイナンス機関です。

世界銀行のデータによると、インドネシアの51%の人々が金融システムから排除されており、同国におけるマイクロファイナンスの需要は高いものとなっています。

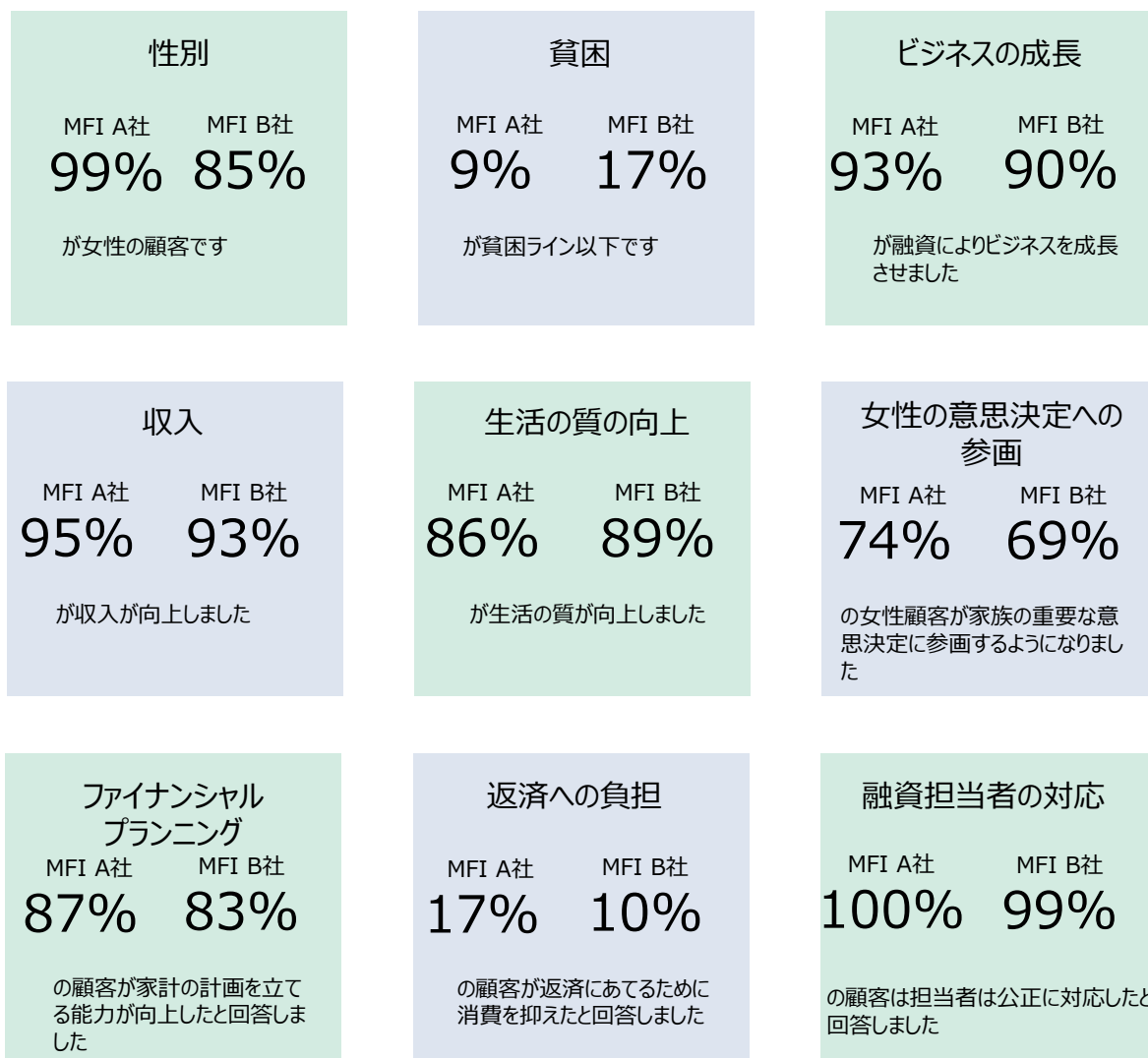
*：本文中ではマイクロファイナンス機関名は匿名にしています

受益者への調査結果の概要

AWIFは、2020年にミャンマーのJAWEF投資先2社（MFI A社とMFI B社）の最終受益者への調査を行いました。この調査は、インパクト測定の標準化を目指してつくられた「リーンデータ」という測定手法を用いインパクトを測定しました（60 Decibelsへの業務委託にて実施）。調査結果の概要は以下の通りです。

MFI A社:n=299

MFI B社: n=300



生活の質の向上に関するマイクロファイナンス機関の顧客からのコメント

MFI A社

- ・"以前はいつも明日のことを考え、食料を他人から借りていました。今は安心して仕事ができるようになりました。"
- ・"以前は非正規労働者でしたが、今は業務改善しました。"
- ・"以前は高い金利で融資を受けていたが、今は貸金業者から高金利で融資を受ける必要がない。"
- ・"大学に通い、卒業間近の息子を支えることができる。"
- ・"家の屋根を改修し、屋敷を柵で囲った"
- ・"家を改築して、今は貯金として5匹の豚を飼っています"
- ・"健康管理の向上と健康への不安の解消"

MFI B社

- ・"テレビ、ソーラーパネル、インバーターを購入しました。"
- ・"家計の消費に使えるお金が増え、貯蓄したお金を母の健康治療のために使った"
- ・"自分自身にもっとお金をかけてもいい、自分の敷地で井戸を掘っている"
- ・"農場用に3頭のバツファローを購入しました"
- ・"子どもの教育費・学費にもっとお金をかけられるようになった。"
- ・"耕作のために金を売る必要がない"
- ・"お金を貯めて、車のエンジンを修理した"
- ・"農場で牛を2頭購入し、家計消費に回せるようになった"

Beacon Fund (BF) 社会的インパクトに関するレビュー



Beacon Fund (BF) は、東南アジアの女性が経営・所有する中小企業が直面する融資の問題「ミッシング・ミドル」に対し、適切かつ柔軟な資本（主にデットとベンチャー・デット、選択的にエクイティ）を提供しています。

これにより、従来の資金調達にアクセスするために必要な信用履歴を構築しながら、事業を成長および拡大することができます。

投資の意義

BFが対象とする地域の女性起業家は、伝統的な金融サービスへのアクセスに関し、以下のような課題に直面しています。

- ・ 資金調達の選択肢は、ベンチャー・キャピタルとプライベート・エクイティ以外にあまりなく、中小企業はこのような資金へのアクセスが困難
- ・ 海外勤務や留学経験、多国籍企業での勤務経験、高い英語力、大都市に拠点を置くなど、他の多くの投資ファンドが求める「典型的な」創業者像に多くの女性起業家は当てはまらない
- ・ 対象地域の多くの銀行は多額の担保を要求し、融資条件も柔軟性に欠けるため、担保となる不動産や預金がない起業家は、このような融資を受けることが困難

BEACON FUND

社会的インパクトに関するレビュー

1 インパクト・テーマ

Beacon Fund (BF) ファンドの成果目標は以下の通りです。

- 女性主導・女性所有のビジネスにおける起業成功のモデルを実証する。
- 従来のプライベート・エクイティ、ベンチャー・キャピタルを超える新たなアプローチやファンド構造の概念を検証する。
- BFの投資後、投資先が従来の金融機関から融資を受けるための信用情報を構築することを支援する。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

本ファンドの目的は、女性起業家のために資本へのアクセスを確保するというAWIFの目標に合致しています。また、AWIFの目標に沿い、女性に対して供給不足である資本市場を改善し成長させるというアプローチにおいて先駆的な存在です。

本ファンドのインパクト・テーマは、特に以下のAWIFのインパクトの柱に合致しています。

- ・ 柱1：金融資本へのアクセス
- ・ 柱2：女性の収入機会と生計の向上

また、BFは、ジェンダー投資のフィールド・ビルディング（新たな投資市場の開拓）の一環として、イベントでの講演等の様々な発信を通じてジェンダー投資の促進を図っており、AWIFのミッションとも合致します。

2 インパクト・ゴール及び関連SDGs

本ファンドは、インパクト目標に対する進捗状況を把握するために、以下のような指標を測定することを目指しています。

- ファンドが投資した女性経営者／女性主導の企業の数
- ファンドの投資先企業を通じて直接影響を受けた女性の数
- BF、共同投資家、フォローオン投資家による、女性が経営する／女性が主導する事業への資金投下額
- BFが支援する起業家の顧客満足度とアドボカシー（ネット・プロモーター・スコア）
- 女性管理職の比率と人数
- 女性スタッフの比率と人数
- 女性役員の比率と人数
- 他の金融機関から資本を調達した投資先の割合と調達額

関連するSDGs



AWIFのIMM枠組みとの関連性

SDGs5、8、10に対する本ファンドの取り組みは、AWIFのインパクト枠組みに完全に合致しています。

インパクト・ゴールと指標は、AWIFが柱1（金融資本へのアクセス）および柱2（女性の収入機会と生計の向上）の一部について求める指標と一致しており、また、BFは、その他の指標のデータも収集しています（P17の表参照）。

3

ジェンダー視点

本ファンドは、投資プロセス全体およびファンドの内部業務において、ジェンダー視点を適用しています。2017年、BFはCriterion Instituteと協力し、投資先との対話のきっかけを提供するジェンダー分析ツールを開発しました。担当者は、ツールを使って各事業体ごとに評価し、ジェンダーに関する項目について報告するよう訓練されています。

BFでは、ジェンダー視点の適用について、単なるチェックリスト確認作業としての標準的なジェンダー評価システムを使用していません。

また、投資先ごとにジェンダー行動計画を策定していないものの、ジェンダー・リーダーシップの支援に、より強く焦点を当てています。

BFは投資先に対して特定のジェンダー目標の推進を約束させることはありませんが、必要に応じて提言をしています。

併せて、従来の金融システムから排除されがちな女性起業家を惹きつけるために、そのアプローチ、製品、投資基準、プロセスなどを紹介する冊子を作成しています。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

ジェンダー投資は、BFのIMMの中核であり、AWIFの目標と強く一致しています。さらに、BFは女性のための投融資を行い、且つ女性によって運営されている投資運用会社です。

BFは、投資先がそれぞれの事業体に適する形で個別性の高い形でジェンダー視点の実装を検討することを支援することに興味を持っていますが、それを拡大させる方法については悩んでいます。彼らは現在、正式なジェンダー行動計画を持つ投資先をサポートしていませんが、ジェンダーに関する議論を進行中のポートフォリオ管理の議論に統合しています。これは、AWIFがさらなる技術支援(TA)資金を提供することでBFを支援できる分野である可能性があります。

4

対象地域

ベトナム、インドネシア、フィリピン

AWIFのIMM枠組みとの関連性

これらの国はすべてAWIFが対象とする地域です。

現在、投資はベトナムでのみ行われており、12ヶ月ほどはこの一国集中で続ける予定です。その後3年間の間に、3カ国すべてにランプアップして到達することを目指しています。

BFが意図する受益者は、東南アジアの女性所有の企業、従業員、サプライヤーおよび消費者としての女性と女兒です。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

東南アジアの女性が経営する企業や、従業員、サプライヤーや消費者としての女性と女兒を対象とすることは、アジアにおける女性の生活向上とジェンダー差別の障壁を崩すための触媒として投資を行うAWIFのミッションと合致しています。また、BFは投資先企業にとって最初の機関投資家であることが多く、資金不足の中でAWIFが提供する資金調達の付加価値を示しています。

BFの投資先はそれぞれのビジネスモデルの個別性が高い為、ケースバイケースでインパクトの深さを測定することを目指しています（例えば、STEM分野の女子の支援に焦点を当てた新製品に関するインパクトの追跡）。担当者は、デューデリジェンス時にインパクト評価を行い、インパクトマネジメントプロジェクトの5つの基本要素（WHAT/WHO/HOW MUCH）に従ってインパクトをモニタリングすることに焦点を当て、継続的な測定のためにIRIS+指標のうち（SDGsに沿った）3~5指標の活用を推奨しています。また、資金アクセス課題解決に資しているのかを把握するため、投資先の満足度を調査する顧客満足度調査を実施しています。

女性起業家がビジネスを成長させながら社会的インパクトをもたらすというコミットメントと情熱から、投資先の業績がもたらすインパクト測定を奨励し、管理するための独自の仕組みを構築しています。2023年初頭に導入された「インパクト連動型」の構造は、企業が期間内に特定の指標に基づいて社会的インパクトを生み出す能力を証明した場合、金利引き下げやその他のインセンティブを提供するもので、現在までにこのインパクトと連動した仕組みを享受している企業が1社あります。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

BFは、AWIFの求める指標の大部分を報告することができ、投資先レベルでAWIFの柱1および2の指標を報告することができます。

IRIS+やSDGsの報告は企業ごとに異なりますが、可能な限り男女別に細分化したデータの収集を目指しています。

BFが投資している企業の中には、カスタマーアドボカシーに焦点を当てた顧客調査を実施しているところがあります。BFは、企業の許可を得て、より深い学びをAWIFに共有したいと考えています（BFは事例提供に関して協力する意向であるものの、投資先企業からの合意について事前に確認が必要であり、2023年11月~12月頃を目指しています）。

ジェンダー分析ツール

パタマー・キャピタルはCriterion InstituteおよびInvesting in Womenの支援を受けて、簡潔で実用的なジェンダー分析ツールを開発しました。このツールの目的は、デューデリジェンスの過程に完全にジェンダー視点を取り込まれる事で、ジェンダーバランスの分析を行うための質問の切り口を纏めたものです。このツールは、最初から最後までチェックリスト形式による不自然な質問に従うことを意図したものではなく、各投資先にすべてのお決まりの質問をしたり、すべてのデータポイントを駆け足でこなす必要もありません。

このツールは、市場、顧客、企業の3つのセクションに分けられています。各セクションには、6~10個の指針となる質問、考慮すべき重要なポイントが含まれており、収集すべきさまざまな潜在的なデータポイントを示唆しています。ツールの最後には、すべての質問の要約と、参考のために利用できるジェンダーの国際的なデータソースのリストが記載された表があります。

質問例としては、以下のようなものがあります。

- ・この分野のサプライチェーンにおける意思決定者は誰ですか？
- ・お客様のニーズは性別によってどのように違うのでしょうか？
- ・この会社の製品・サービスのターゲットとなる顧客は誰ですか？実際のユーザーvs. バイヤーは誰ですか？
- ・会社は、すべての職位における多様性へのコミットメントと計画を持っていますか？
- ・会社には 育児・介護休暇などの方針がありますか？

収集するデータの例としては、以下のようなものが提案されています。

- ・地域や業界のジェンダーパターンを理解していることを示すデータや、ビジネスモデル内の指標データ
- ・アクセシビリティ、アベイラビリティ、アフォーダビリティ、クオリティに関する男女別のニーズ
- ・男女別の顧客データに基づく、女性と男性の消費パターン
- ・育児休暇、育児、苦情処理方針などに関する業界標準

このツールは、さまざまな市場のサプライチェーン、消費者行動、規範、ニーズ、意思決定力、およびさまざまな業界の企業成長、従業員、顧客との関係など、多様な側面に関連するジェンダー・パターンを理解し、明らかにするために担当者を支援します。成長や機会の障壁となるジェンダーバイアスを意識することの重要性を強調し、そのような状況にある分野の具体例を提示しています。業界レベル、サプライチェーンレベルでジェンダーを理解し、企業、役員、従業員、プロダクト、流通チャンネル、マーケティング、価格帯、顧客行動まで掘り下げて、各投資先におけるジェンダーへの影響とその深化を検討することを支援します。このツールを使用することで、BF、その投資先、および潜在的な投資先は、リーダーシップ、労働力、製品、サービスなどにおいてジェンダー視点を統合し機会を特定して行動し、そうすることでジェンダー平等を強化し、ビジネスチャンスを獲得できます。

女性CEOが率いる企業への投資

(ベトナム)



写真：Hoa Nang OrganicのCEO、Dang Thi Truong An氏(提供：Hoa Nang Organic)

Hoa Nang Organicは、有機米を中心に生産するベトナムの有機農業企業です。同社は、USDAとEUの有機基準に沿って、コントロールユニオン(国際的な認証機関)の認証を受けています。メコンデルタの農家と直接取引し、有機農法に関する研修や有機認証取得を支援しており、取引農家には約30~40%の上乗せ料金を支払っています。

2021年9月、BFチームはHoa Nang OrganicのCEOであるDang Thi Truong Anと出会いました。Hoa Nang Organicを設立する前、An氏は大手農業バリューチェーン企業で勤務経験を持ち、持続可能性の向上に強く関心を持つようになりました。しかし、その会社は大企業であったため、彼女の取り組みはごく一部にとどまっていた。そこで、彼女は転職を考え、新たにサステナビリティを前面に出した農業ビジネスを起業することにしました。これはベトナムでは珍しいことであり、当該分野での女性のCEO自体、極めて珍しいことです。女性は農業労働者の43%を占め、途上国の食料の大半を生産している一方で、管理職における女性比率はわずか14%であり、また、農業関連投資では女性は約7%しか投資を得ていません。昨年、BFは数十社のインパクト志向農業関連企業と面談を実施しました。その内、女性経営企業であった場合でも、ほとんどの場合、女性は男性の共同創業者に比べて発言権が小さかったり、CEOではなく、より権限の少ないCOOの役割を担っているなど、ビジネスにおける女性の地位が低く、その影響力も限定的であることがわかりました。

女性主導のビジネスは、その分野を問わず、大きな課題に直面しています。一般的に女性は家事や介護の責任に縛られ、銀行口座開設や融資に必要な担保を持ちにくく、同業者のネットワークがなく、投資を求める際に大きな偏見やダブルスタンダードに直面しています。男性優位の農業業界において、女性は「女性であること」、「業界のマイノリティであること」という「ダブルマイノリティ」であるというパワーダイナミクスに対処しなければならず、克服すべき障壁はさらに高くなります。また、従来のベンチャー・キャピタルやプライベート・エクイティ・ファンドは、将来飛躍的成長が見込めるユニコーン企業等に投資することで大きな利益を上げるビジネスモデルであり、飛躍的成長パターンを取らないもののビジネス成長が出来るような多くの有望なビジネスは投資対象から排除されてしまいます。

2022年初頭、BFは Hoa Nang Organic を2番目の投資先として選びました。BFチームは当初から、Dang Thi Truong An 氏の能力の高さを高く評価していました。持続可能な農業、そしてさらに発展途上のベトナムの有機農業セクターでは珍しい女性CEOであるにもかかわらず、彼女は同社を目覚ましい成長の軌道に乗せてきました。BFチームは、同社が有機栽培に関する業界基準を厳守し、彼女のリーダーシップの下、チーム(70%が女性)および協力する農家(約50%が女性)の両方でジェンダー平等に取り組んでいることに感銘を受けました。Hoa Nang Organicは、単に女性主導企業であるだけでなく、企業が仕事のさまざまな側面でジェンダー視点を取り入れた経営ができることを示す素晴らしい例です。同社は顧客ベースとその嗜好の精査から、サプライチェーン、社内の人材育成に至るまで、事業のあらゆる側面にジェンダー視点を取り入れています。例えば次世代の女性リーダーの育成に非常に力を入れており、彼女たちに成長の場を与え、スキルを伸ばし、様々な研修を従業員に受講させています。BFからの投資が Hoa Nang Organic にもたらした成果は、金額以上のものが見えています。まず、Dang Thi Truong An 氏とそのチームは、Hoa Nang Organicの価値観が認められた事で、個人的にも仕事面でも自信を持つことができました。そして、追加投資を求めるための実績と信用力があることを実感し、別の資金調達源を見つける自信も得ました。現在では、開発金融や政府の支援プログラム、その他の外国資本など、以前は手が届かないと考えていた資金提供者との対話も始めました。BF社の投資先に選ばれた事により、同社は企業顧客から重要かつ成長性の高い注文を受けることができました。これは、同社にとって極めて重要な成長機会となっており、継続的な成長と新しい製品ラインへの拡大が進んでいます。

Women's World Banking Capital Partners II (WWBCPII) 社会的インパクトに関するレビュー



Women's World Banking (WWB) は、1979年に低所得の女性と彼女たちが直面する不平等を改善するために設立された国際NGOです。その使命は、低所得の女性とその世帯が金融サービス、金融知識、市場にアクセスできるように支援するを通じて、女性たちの資産、参画を増やし、エンパワーメントすることです。WWBは金融機関、金融サービス提供者、政策立案者、投資家、ドナーなどと提携し、女性を中心とした製品、サービス、マーケティング手法、方針を市場に提供しています。

WWBは、40年以上にわたり、世界中の低所得層の女性が、それぞれの社会と経済に平等に参加するために必要な金融ツールと自信を提供してきました。

WWB Capital Partners II (WWBCPII) は、零細・中小企業向けのファイナンス、マイクロ・インシュランス、スペシャルティ・ファイナンス、貯蓄・決済・送金サービスを含むもので、これ以外にも、高いパフォーマンスで女性に焦点を当てた包摂的な金融サービスプロバイダー（以下FSP）に対して、直接少数株式または準株式投資を行う予定です。本ファンドは、ブレンデッド・ファイナンス・ファンドとして構成されており、クラスBトランシェの投資家からの資本がポートフォリオのファーストロス吸収するリスクトランシェ構造が組み込まれます。本ファンドは、2012年に設立されたWWB Capital Partners IIに続くものです。

WWBCPIIは、WWBCPIとともに、女性の金融包摂に特化した、女性が管理するエクイティ・ファンドです。当ファンドは、主に女性にサービスを提供し、機関内でジェンダー多様性を示す包括的なFSPに投資することを目指します。

投資の意義

開発途上国全体で、約10億人の女性が正式な金融商品やサービスを利用できない状況にあります。地域経済に大きな貢献をしているにもかかわらず、女性は男性に比べて金融資本へのアクセスが少ない状態が続いています。途上国市場では、銀行口座へのアクセスにおいて、男性に比べて女性には9%の男女差があり、金融サービスの利用における格差ははるかに大きい状態となっています。WWBCPIIは、女性が安心と発展のために必要な金融サービスへのアクセスを大幅に向上させることで、ジェンダー格差の解消に貢献することを目指しています。

出典: WWBウェブサイト <https://www.womensworldbanking.org/about-us/our-mission/>

Women's World Banking Capital Partners II (WWBCPII) 社会的インパクトに関するレビュー

1 インパクト・テーマ

低所得の女性顧客へのアプローチとサービスを優先し、スタッフや経営陣の性別の多様性を拡大し、革新的なソリューションを活用して顧客との関係を強化する新興市場のFSPに投資することは、高い投資効果をもたらし、金融包摂を通じて女性の経済力向上を促進することになります。

金融サービスを利用できない低所得者の中でも女性が大多数を占めています。低所得層女性による起業活動は、貧困対策、世帯の収入向上、子どもの就学、家族の医療へのアクセス向上に極めて重要な役割を果たしていることが調査で実証されています。

本ファンドは、実績があり、インパクトのあるジェンダー投資戦略を、より広範な投資コミュニティに広く普及させることも目的としています。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

本ファンドのインパクト・テーマは、AWIFのインパクト・柱に完全に合致しています。

- ・柱1：金融資本へのアクセス
- ・柱2：女性の収入機会と生計の向上
- ・柱3：職場におけるジェンダー平等

WWBはまた、AWIFの目標の一つである、より広範な投資コミュニティにおけるジェンダー視点によるインパクトのある投資の促進も目指しています。

2 インパクト・ゴール及び関連SDGs

本ファンドは、金融包摂におけるジェンダー格差を解消することを目的としており、次の目標を掲げています。

- 投資するすべての主要な製品ラインにおいて、女性の割合がまだ50%でない場合に、女性顧客の割合を増やす。
- 投資先の運営スタッフ、管理職、取締役会に占める女性の割合を、スタッフでは50%以上、管理職と取締役会では35%以上にする。

関連するSDGs



AWIFのIMM枠組みとの関連性

SDGs1,5,8に対する当ファンドの取り組みは、AWIFのインパクト枠組みに完全に一致しています。

インパクト・ゴールと指標は、AWIFが求める指標の多くと一致しており、WWB CPIIIは、その他の指標のデータも収集しています。

3

ジェンダー視点

本ファンドは、明確なジェンダー視点を適用し、各ステップの進捗状況に対して報告を行う予定です。

- 女性を対象とした市場への貢献と職場における性別の多様性に取り組む、高業績の包摂的FSPを対象とする
- 投資保有期間中のジェンダーパフォーマンス基準の追跡と報告、ジェンダー評価とジェンダー戦略策定への参加などを投資先に約束させる投資条件を交渉する。
- 各投資先について、「組織的ジェンダー評価」と「女性市場戦略評価」、総称して「ジェンダーパフォーマンス調査」を実施し、ジェンダー格差、偏見、機会を特定し、それらに対処するための3~5年のジェンダー行動計画を推奨するとともに、ジェンダー行動計画の目的達成に向け追加技術支援(TA)の提供を提案する。
- ジェンダー行動計画の実施状況をモニタリングする。
- ジェンダー別パフォーマンス指標を測定し、必要に応じてさらにデータを細分化したうえで定期的なインパクト評価を行う。
- ジェンダーに関する知見やベストプラクティスを報告・共有する。

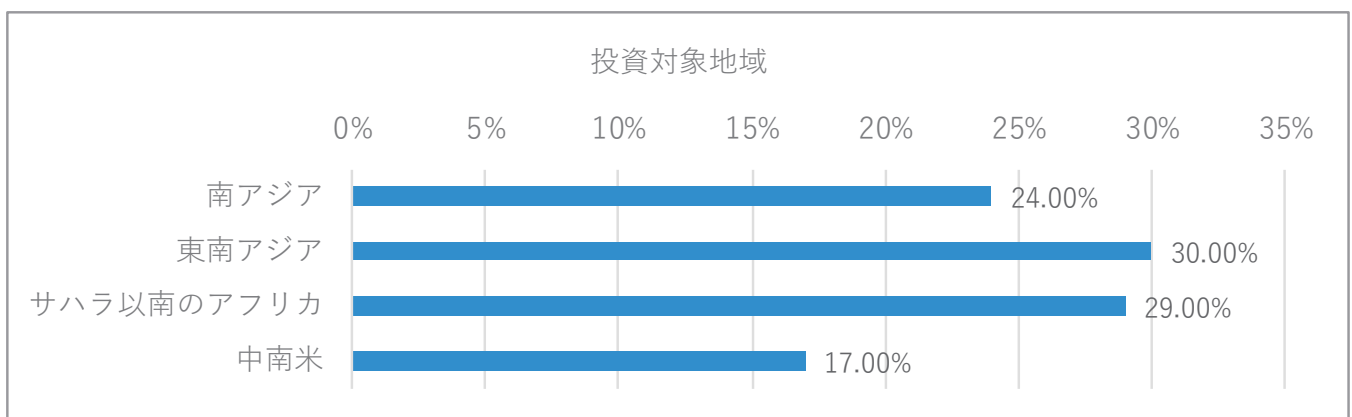
AWIFのIMM枠組みとの関連性

WWBCPIIは、ジェンダー視点を投資プロセスに組み込むという点で、業界をリードするアプローチを採用しており、これまでのAWIFの運用ファンドの中でも特に先導的なジェンダー投資ファンドであるといえます。AWIFは WWBCPII と提携し、より広いジェンダー投資業界にその実践例を共有し、他の運用会社がジェンダー・アプローチを継続的に進めることを奨励することができ得ます。

4

対象地域

WWBは42%の資金を投入しており、全体で南・東南アジアへの配分を40~50%(2023年5月時点)とする目標を掲げています。



AWIFのIMM枠組みとの関連性

本ファンドの投資の40-50%は、AWIFの対象地域である南・東南アジアに投資される予定です。

5

受益者層

新興国の低所得層の女性、投資先の従業員や経営陣の女性。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

低所得の女性を顧客対象にしており、AWIFの意図に合致しています。

6

インパクトデータの収集と報告

WWBはまた、60 Decibelsとの提携により、受益者のサンプル調査を行っています。ポリビアのバンコソルのために行った最近の調査に加えて、今後行われる調査の結果をAWIFに共有することに合意しています。

AWIFのIMM枠組みとの関連性

WWBは、AWIFの求める指標の大部分を報告することができます。さらに、WWBは受益者のサンプル調査も実施しており、これによりAWIFはWWBとその投資先のインパクトを確認することができます。

WWBの技術支援プログラム

WWBCPIIの強みの一つは、世界の女性の金融包摂を専門とするNGOであるWWBとともに、投資先企業に対して技術支援(TA)プログラムを提供できることです。TAプログラムを通じて、投資先企業はジェンダー評価を実施し、ジェンダー行動計画を策定するための適切な支援を受けることができます。TAプログラムには以下のようなものがあります。

- ・投資先が現在どのように女性顧客にサービスを提供しているかを分析するとともに、人事の意思決定に影響を与える可能性のある無意識の偏見を含め、社内で女性を採用、保持、昇進させるための障壁を明らかにする徹底的なジェンダー評価
- ・共同設計された3年から5年の「ジェンダー行動計画」は、女性市場に貢献するための明確なビジョンを設定し、組織において包摂的な職場環境と有効な方針を開発する。ジェンダー行動計画には、投資先がパフォーマンスを追跡できるように、明確で測定可能な主要業績評価指標が含まれる。
- ・その他目標達成のために必要な追加の技術支援を行う。

これまでに完了したWWBの投資先企業に対するTAプログラムの事例は以下の通り。

Sitara社 ジェンダー行動計画

2021年後半にSitaraジェンダーパフォーマンス調査が完了した後、Sitaraのリーダーシップチームは、ジェンダー行動計画の実施において大きな進歩を遂げました。初年度は、雇用と定着の実践における機会格差への対応に特に注意を払い、その結果、2022年12月の取締役会では、以下のような成功事例が共有されました。

- ・ほとんどの部署で、女性の比率が2~3%以上増加している
- ・クレジット、コレクション、情報技術の各チームに、以前はいなかった女性従業員が配属された。
- ・オペレーションチームでは、女性従業員が全体で5%増加した
- ・100名以上の従業員を対象に第1回ジェンダーセンシティビティ研修を実施
- ・複数の支店で女性従業員のための設備を整えた
- ・全支店にCCTVカメラを設置し、一元的に監視することで、スタッフ、特に女性従業員の安全とセキュリティを確保

Amartha社 ジェンダーパフォーマンス調査

2022年12月、Amarthaジェンダーパフォーマンス調査が終了しました。この調査により、多くの点でAmarthaがジェンダー・インクルーシブ・ビジネスのリーダーであることが、確認されました。

- ・技術職の女性候補を増やすためにハッカソンなどの革新的なプログラムを実施している
- ・従業員の福利厚生の一環として、無料カウンセリングを実施し、特に新型コロナ流行時の女性のサポートに役立てられた
- ・フレックスタイム制及び好きな場所で働くことができる方針を有し、家庭のケアワーク責任を負う従業員(主に女性)を支援している
- ・スタッフの離職回避の施策
 - ✓ 離職の原因となりやすい業務内容を減らすために、職務を再編成。例えば、顧客への第一段階の介入がうまくいかなかった場合の債権回収など、ストレスや仕事量を軽減する分野に特化したフィールドサポート職の導入の可能性を継続的に検討。
 - ✓ ジョブシェアリングの試行を行う(現場担当者をペアにして、一人がもう一人をカバーすることで、仕事と家庭の両立を図る)。
- ・女性の顧客を増やす施策
 - ✓ 女性の顧客(特に独身・寡婦)がAmarthaのローンを利用しやすくするために、ローンプロセスの4つのタッチポイントでの男性の保証人の存在の必要性を再考。
 - ✓ Amarthaの顧客基盤を拡大するために、独身および寡婦の顧客に対するリスク軽減策を策定。

「投資家による貢献 (Investor contributions)」とは

本報告書では、2019年にIMPが投資家や実務家との協議プロセスを通じて文書化した「投資家による貢献 (Investor contributions)」の概念に関する中間的なコンセンサスを踏襲しています。

投資家への貢献には、4つの戦略アクションがあり、それぞれ単独で、あるいは組み合わせて使用することができます。それらは以下の通りです。

- ・ **インパクトが重要であるということを知らせる (Signal that Impact Matters)** : 資本市場における社会的・環境的インパクトの「プライシング」につながるような、企業が与える測定可能なインパクトを考慮することへのコミット。「バリュー・アライメント」と呼ばれることの多いこの戦略は、投資家の価値観を反映させるものであり、重要なベースラインとなる。ただし、それだけでは他の形での貢献と比較した場合、社会的課題の解決には発展は見られない可能性が高い。
- ・ ビジネスの環境的・社会的パフォーマンスを改善するために専門知識とネットワークを駆使し、**積極的に関与 (エンゲージ) (Engage Actively)** する。エンゲージメントには、企業との対話から（プライベート・エクイティでよく見られるように）投資家が独自のチームやコンサルタントを活用して取締役会の席に着き、実践的な経営支援を提供するなどの、様々なアプローチがある。環境、社会、ガバナンスの要素を含め、企業との重要な対話を行うことは、通常ファンド運用プロセスにも含まれているが、「**積極的に関与する**」という表現は、企業が人や地球に与える影響を改善するために積極的な取り組みを展開するという意志の表明である
- ・ **新しい、あるいはこれまで見過ごされてきた投資機会に参加することで、新しい、あるいは供給が十分でない資本市場を成長させる**。これには、より複雑で流動性の低い投資や、リスクとリターンが見合わないと思われる投資が含まれる場合がある。
- ・ インパクト創出の目的のためには、短期的な利益の最大化や財務的リターンを求めず、長期的な視野に立つて財務的リターンが譲許的で、直ぐに結果の表れないものへの投資も必要であることを認識した上で、**柔軟な資本を提供する**。例えば、これまで疎外されてきた人々のために新しい市場を作るには、従来の利益追求型ではない触媒的資本が必要になることがある。

出典 資本市場における投資家の貢献とは - 議論のまとめ

<https://impactfrontiers.org/wp-content/uploads/2022/05/Investor-Contribution-Discussion-Document.pdf>

AWIFによる「貢献」に関する調査結果

IMPは、社会・環境に関する目標に対する投資家のコミットメントの説明責任、投資プロセスにおける投資家の役割の透明性、投資戦略やプロセスの改善、投資家の影響力を高める方法の特定を促進するため、投資家の貢献を測定することが重要であると主張しています。このエンゲージメント・プロセスの一環として、AWIFから委託を受けたBrightlightはAWIFの各運用ファンドに対してアンケートを送付し、運用会社の視点からAWIFの投資家としての貢献度を把握しました。 主な調査結果は以下の通り。

投資家としての貢献

AWIFの投資が触媒となり、特に新規ジェンダー投資ファンドの資金調達に対して触媒的な役割を果たし、追加投資家を引きつける役割を果たした。

AWIFは、運用するファンドの投資先企業に対して、その顧客への調査を2回実施した。これにより、投資先企業は最終受益者のフィードバックを得て、商品やサービスの改善ができる

2人のファンド・マネージャーは、AWIFは、潜在的な投資家の資本やその他のリソース、新しいパートナーや協力者の拡大、すでに市場に参加している他者からの学習など、ネットワークへのアクセスも提供したと述べた

運用会社の意見

「AWIFのおかげで、既存投資家がファンド拡大に賛成してくれました。」

「よく知られる通り、新ファンドにとって、最初にコミットしようとするLPを見つけるのは容易ではない。そのファンドが新しい戦略を持ち、幅広い実績がない場合はなおさらです。（中略） AWIFは私たちのファンドに最初に投資した機関投資家の一人でした。」

「 AWIFと共同プロジェクトを実施し、製品・サービスのさらなる向上を目指した顧客調査を実施することができました。」

アジアにおけるジェンダー投資市場形成への貢献

AWIFにとって、「投資家による貢献」の議論は、投資先ファンドや投資先企業が出すインパクトへの貢献だけではありません。AWIFは、企業単体・ファンド単体を超えて、投資先企業が属するセクターや業界に対する貢献も視野に入れて活動をしました。

アジアにおけるジェンダー投資市場の形成に向けた活動またはジェンダー投資実践のためにAWIFに協力または協働したさまざまな組織にインタビューを実施しました。インタビューから得られた調査結果の概要は下記のとおりです。

欧米以外ではほとんど行われていなかったインパクト投資やジェンダー投資をアジアの財団として先駆的に取り組むAWIFは高く評価されています。AWIFは、その広範で多様なジェンダー投資市場の成長に向けた活動とAWIFの設立を通じて、ジェンダー投資の先駆者であり実践者の代名詞と見なされています。ジェンダー投資を実践し女性の経済活動に向けた資金の流れを促進するという使命は、非常に革新的です。AWIFのリーダーシップとジェンダー投資実践事例は投資市場において非常に重大な役割を果たしており、インパクト投資・ジェンダー投資エコシステムの形成と拡大に大きな貢献をしている先駆者であると認識されています。AWIFはジェンダー投資の分野で世界的に非常に注目されており、AWIFのジェンダー投資に関する発信は、アジアと日本の市場の両方で高く評価されています。

主な調査結果の要約は次のとおりです。

- ・ AWIFは、ジェンダー投資を主導する組織として、国際的にも一目置かれる存在です。AWIFの名前と影響力は、本物で重要であると認識されています。
特に黎明期である市場に対して、AWIFのジェンダー平等へのコミットメントを示し主導的役割を果たしています。
- ・ AWIFは、インパクト投資やジェンダー投資のパイオニアであり実践者として、日本の中でも傑出したリーダーです。
AWIFは、日本のインパクト投資ムーブメントの創出に大きく貢献し、市場拡大に積極的に影響を与え続けています。
- ・ AWIFは、特に東南アジアのチャンピオンとして、最も多くの割合を欧米が占めるジェンダー投資の市場状況に対して、アジアの視点をもたらし、アジア地域での市場成長に非常に必要とされています。
東南アジアと東アジアに十分な焦点が当てられていない状況は、AWIFと私たちの組織の両方にとって指針となるテーマでした。(中略)よりローカライズされ、文脈化されたジェンダー投資が必要であると感じています。
- ・ AWIFによるジェンダー投資市場の成長に向けた活動は高く評価されています。
「ジェンダー投資概況調査 - 東アジア・東南アジア」は、我々の組織が戦略とパイプラインを構築する際にとても役立ちました。(中略)AWIFによる研究成果やツールの発信は我々にとって非常に影響力がありました。
- ・ ジェンダー投資を拡大促進させる触媒的な役割を果たしており、ジェンダー投資を呼び込み、インパクトの発現につなげるという拡大発展に貢献している
AWIFは、特にアジアや日本の投資家の中で、女性を対象としてインパクト投資を進めていくという明確な役割を持っていると思います。一部のファンドに早期に投資することで、(中略)特に他の投資家をこのセクターに呼び込んでいます。繰り返しになりますが、これはAWIFが行っている市場成長に向けた大きな力だと思います。

出典: Stakeholder Interview report prepared by Brightlight

ASIA **WOMEN** IMPACT FUND

●●●●●●●● SASAKAWA PEACE FOUNDATION

CONTACT US



電子メール
awif@spf.or.jp



ウェブサイト
<https://www.spf.org/awif/>